

サポート

NO. 143号

平成29年7月27日発行

秋田県教育庁特別支援教育課 指導班

平成29年度通級指導教員等専門性向上事業

本年度、新たに取り組む「通級指導教員等専門性向上事業」についてご紹介します。

本事業は、文部科学省の委託を受け、通級による指導担当教員の研修支援を通して、発達障害等に係る効果的な指導方法の実践研究を行うとともに、通級指導教室と在籍学級等との連携体制の構築を図ることを目的に実施するものです。

研修拠点校として小学校3校、中学校3校を指定し、「発達障害」や「通級による指導」に関して著名な大学教授等の専門家による年2回の学校訪問を通して、通級指導教員の研修を支援します。

平成30年度から高等学校における通級指導教室の制度化開始も控え、通級による指導の充実とノウハウの共有が喫緊の課題です。本事業を通して得られる成果が、この新たな課題の解決に向けた有効な手立てとなると期待しています。



平成29年度通級指導教員等専門性向上事業拠点校一覧

	県北地区	県央地区	県南地区
小学校	能代市立第四小学校	男鹿市立船川第一小学校	大仙市立花館小学校
中学校	北秋田市立鷹巣南中学校	にかほ市立仁賀保中学校	湯沢市立湯沢南中学校

専門家一覧（敬称略）

所属名	職 名	氏 名
宮城学院女子大学	教 授	梅田 真理
宮城教育大学	准教授	植木田 潤
国立特別支援教育総合研究所	上席総括研究員	笹森 洋樹
広島県廿日市市教育委員会	特別支援教育アドバイザー	山田 充



「地域環境美化功労者表彰」受賞

県立ゆり支援学校

環境省では、毎年6月の環境月間にあわせて、地域環境保全等に顕著な功績があった者（または団体）に対し、その功績をたたえるため、毎年、表彰を行っています。

今年度は、秋田県の推薦を受けた個人2名2団体を含め、全国で個人42名、75団体が表彰され、ゆり支援学校は「地域環境美化功労者表彰」を受賞しました。表彰式は、6月14日に東京都グランドアーク半蔵門で行われ、児童生徒・PTA・教職員を代表して、校長が山本公一環境大臣より表彰状をいただきました。



本校は、かねてより地域の環境美化に取り組んでおり、平成26年度の「国民文化祭応援プロジェクト」の際には、色どり豊かな200個のプランターを寄贈したり、冬季の「除雪」などの活動を行ったりして、地域に感謝される体験を重ねてきました。平成27年度には、「地域や学校を（みんな）元気にしよう」をコンセプトに、PTAや高校生ボランティア、行政機関等の協力を得て、学校と地域が連携・協働する大きなプロジェクトチームへと発展しました。今回の受賞は、この「地域応援活動～みんな元気プロジェクト～」の一環として取り組んできた地域の国道や河川公園への植栽、近隣海水浴場のクリーンアップ、河川緑化推進団体への花苗寄贈等の継続した活動が評価されたものです。昨年度、秋田県知事からいただいた「環境大賞」（環境美化部門）に続く受賞となりました。

受賞の一報を受けた生徒たちやPTAの方々からは「これまで取り組んできた活動が、いろいろな方々に評価してもらえて、大変うれしい。」「私たちができることを継続していき、後輩にも伝えていきたい。」「と喜びの声が聞かれました。これまで本校の活動を支えてくださった地域の方々や関係諸団体の皆様に心から感謝を申し上げたいと思います。

本校は今年度から、地域とより深い信頼関係を築きながら、地域と一体となって子どもたちを育む体制づくりのため、県内特別支援学校として初めて「コミュニティ・スクール」導入に向けた事業に取り組んでいます。目指す学校像「地域と共に歩み、地域で育ち、地域に必要とされる学校」の具現化に向け、新たな取組を進めています。

（実習助手 後藤 真紀子）



全校：保護者と一緒に子吉川
花いっぱい活動



中学部：道川海水浴場クリーンアップ



高等部3年生：ねんりんピック会場を
飾る花の種まき

☆☆☆ 秋田県特別支援学校職業教育フェスティバルの実施報告 ☆☆☆

今年で7回目となる「平成29年度秋田県特別支援学校職業教育フェスティバル」が7月12日（水）に秋田市にぎわい交流館A.U.で開催されました。作業学習製品の展示や販売、天王みどり学園と栗田支援学校生徒によるカフェ、視覚支援学校生徒及び教職員による「ふれあいマッサージ」等を通して、特別支援学校の職業教育について広く紹介することができました。

「作業学習実践交流会」では、生徒たちが、食品加工品の試食や「樺細工」等の製作体験などを通して交流しました。以前は用意した台本を読み上げることで精一杯だった生徒同士の関わりが、自分の言葉で説明したり意見を交換したりする姿に変わってきました。作るだけでなく、自分たちの製品を知り伝える学習を取り入れるなど、各校における職業教育が工夫され、充実してきたことの現れだと思います。関わりを通して、思考し、判断し、表現している生徒たちの表情は生き生きと引き締まっていました。

また、学校展示の準備や販売等の活動が生徒主体で行われるようになってきたことも特筆すべきことでした。さらに、本年度は栗田支援学校環境・福祉科の生徒が会場係として参加し、会場設営や片付けに汗を流しました。これまでの競技者や発表者としての参加から、生徒たちが運営の一部を担う形の参加という新たな試みであり、今後の職業教育フェスティバルの在り方に示唆を与えてくれました。

同時開催の秋田県障害者技能競技大会には68名（うち特別支援学校生徒63名）の選手が参加しました。今年もハローワーク秋田の協力を得て、多くの企業関係者に来場いただき、生徒の職業技能をご覧いただくことができました。

「秋田県障害者技能競技大会の部門別受賞者」（特別支援学校在籍者）

競技種目	金賞	銀賞	銅賞
ワード・プロセッサ	佐々木 廉（聴覚）	赤坂 弥風（聴覚）	石岡 奈々（きらり）
表計算	（社会人）	（社会人）	（社会人）
木工	木内 崇人（栗田）	増田 悠（天王）	佐藤 智久（比内）
縫製	金 礼奈（比内） ※県知事賞受賞	根守 紗夢（附属）	佐藤 夏美（かづの）
パソコンデータ入力	（社会人）	吉田 伊織（たかのす）	佐々木 望（大曲）
喫茶サービス	堀田 翼（栗田）	藤本 駿也（せんぼく）	木村 大河（大曲）
ビルクリーニング	石田 美優（比内）	藤原 勇哉（横手）	田代 龍敏（能代）

※（ ）内は学校の略称を示す

ありがとうございました

課の写真撮影用背景をリニューアルしました。作成に協力していただいた聴覚支援学校高等部専攻科情報デザイン科2年生の赤坂弥風さんと佐々木廉さんが、先日、完成品を届けに来てくれました。専門性の高い技術のおかげで、大変美しい仕上がりになりました。ありがとうございました。



情報デザイン科の
赤坂弥風さん(右)と
佐々木廉さん(中)

出来映えの素晴らしさに
デザインした小林課長も
大満足でした。

